

令和7年度第1回学校運営協議会 記録

1 日時

令和7年6月3日(火) 15:00~16:30

2 場所

本校会議室A

3 参加者

(1) 学校運営協議会委員 10名(当日欠席の委員 3名)

A氏(大学教授等)
B氏(大学教授等)
C氏(商工会代表)
D氏(行政関係者)
E氏(学習活動施設代表)
F氏(企業関係者)
G氏(企業関係者)
H氏(P T A代表)
I氏(P T A代表)
本校校長

(2) 本校職員 9名

(校長)、副校長、事務長、総務部長、教務部長、生徒指導部長、進路指導部長、総合企画部長、スポーツ健康科学学系主任、国際科学学系主任

4 学校運営協議会内容

(1) 開会のことば

(2) 校長挨拶

高校総体が昨日で終了し、本校からは、インターハイにソフトテニス部女子個人、体操部の女子個人、そしてソフトボール部女子が出場する。ソフトボール部は、昨年も東北大会で優勝、そして全国大会でも3位で、プレッシャーを感じながらも一生懸命取り組んでいる。文化部は、家庭クラブと文芸部が高村光太郎さんの奥様の智恵子さんが生前に愛用していたエプロンを復刻し、花巻市内のイベントで紹介した。その後、智恵子さんの生誕の地、福島県の二本松市から招待を受け、エプロンを紹介した。

昨年度は、委員の方々には本校のスクールポリシーを作るために3回にわたって本校に足を運んでいただき、本校の根幹となるスクールポリシーが完成した。

今年度の教育活動について、委員の皆様からそれぞれの立場でのご意見をいただき参考にさせていただきたい。

(3) 委員・職員自己紹介

(4) 学校運営協議会委員委嘱

校長より委嘱

(5) 会長及び副会長選出

(6) 協議（議長：A氏）

ア 令和7年度学校経営計画について（資料P1, 2）

P1 資料のとおり

P2

- ・取組方針のイについて；「いじめ事案対応委員会」を設置。いじめ予防や何かあった時により迅速な対応をするために作った組織。
- ・取組方針のオについて；県で委嘱しているスクールカウンセラーに加え、学校独自のスクールカウンセラー2人の力を借りながら、生徒が学校に来やすい状況、生活しやすい状況を作っている。
- ・取組方針のキについて；「岩手モデル」に県内全体が取り組んでいる。予防と迅速な対応をしたい。

イ 本校の魅力化の課題について

①校長より資料説明

(ア) いわて留学による県外生徒募集の可能性について

・現状と課題

現状 ウについて；数年は定員を超えた状況であったが、令和7年度入試では21人減。入試形態が、推薦入試がなくなり特色入試に変わったことも一つの要因だが、花巻地区の公立高校（花巻北高校、花北青雲、花巻農業）の入学者も減少傾向である。授業料の無償化等の影響もあり、私立高校は増加傾向にある。

・想定される問題。

資料のとおり

・取り組みの方向性

資料のとおり

・具体的な方策

「地域みらい留学」とは、全国の地域留学を進めている都道府県に対して、様々な発信等を斡旋する国内進学プログラムである。県内でもこれを利用しているところが多いが、かなりの費用がかかる。本校は費用の面からもそれを使わない方法を検討する必要がある。

- ・いわて留学の各校志願者数について

遠野高校はサッカー、沼宮内高校はホッケーが盛んである。競技を希望して志願する生徒もいるようだ。黒沢尻工業高校など、新たにいわて留学に取り組みを始めている高校もある。

- (イ) 地域のイベントに生徒が主体的に変わる仕組づくりについて

資料のとおり

- ・資料1 (P8) について

山車作り体験の募集をし、17名の生徒が応募した。本校の生徒たちは、情報やきっかけがあれば、参加したい生徒が多い。

- (ウ) 国際交流を進めるための方策について

資料のとおり

② 質疑応答

【B氏】花巻南高校にいわて留学でとなれば、どういうところに特色を持たせるのが大事である。昨年度、葛巻に行った際、いわて留学で来ている生徒がいて、高校生たちが活性化している印象を受けた。いろんな生徒が県外から来ることにより活性化し、様々な交流ができ、非常にいいことだと思う。どのようにして魅力を発信していくかが、1番の鍵になると感じた。

地域イベントに関しては、大学ではサークルがあって、サークルを介して学生に情報が伝わり活動につながっている。サークルや部活のような受け皿的なものがあるとやりやすいのではないかと感じた。

国際交流についてです。私は2月にカナダのビクトリアに学生を引率してきた。学生たちはホームステイをしたが、向こうはビジネスでホームステイを受け入れており、小さな子どもがいる若い夫婦やリタイアされた方たちが受け入れているところもある。生徒の家だけではなく、それ以外の花巻市民全体に情報を浸透するようにするとホームステイ先を確保できるのではないかと。

【C氏】いわて留学に関しては、今後部活動のために遠方から来るケースが増え、活発になっていくのは良いと思う。また、他県からきた子どもたちとの関係の構築も良い経験にもなる。生徒の受け入れ先について、地域と連携できると良い。

地域との関わりについて、商工会議所が主催して、高校生ともっと関わりを持っていきたいと思っている。地域のこれからの担い手として、全員が首都圏に出ていくだけではなく、この地域を担ってくれる若者たちを育成し、私たちもそれをお手伝いできればと思う。

国際交流の件に関しては、子どもが高校生の時に事業者を介して1年間カナダに留学し

た。カナダではホームステイの受入れがビジネスになっている。受け入れ先を広げていくのも1つの方法だと思う。

【D氏】 県外生徒募集の可能性について、偶然、先週、地域・教育魅力化プラットフォームから電話があった。どこにかければいいのかわからなくて電話されたようだった。大迫はプラットフォームとお付き合いがあり、プラットフォーム東北エリア担当の方からいろんなお話が聞けるのではないかと思う。花巻市において大迫の県外生徒募集の関係は、大迫総合支所の地域振興課が担当しているので、そこから情報を仕入れることができると思う。

地域イベントに生徒が主体的に関わる仕組みづくりについて、コミュニティ会議が市内に27あり、地域の方々に組織し、生涯学習や地域づくり活動をしている。例えば、地区で毎年文化祭を開催しており、その教育交流会で令和6年は南高校の男子学生2人に来てもらい、どうしたら楽しい地域になるか自由にトークをしてもらった取り組みもあった。また、花北青雲高校の生徒が企画から参加している取り組みもある。高校生の地域イベントへの参加は地域の力にもなる。コミュニティ会議の運営を支援し、そのような取り組みがより広がるとよいと思う。

【E氏】 いわて留学に関して、花巻南高校は全国レベルで勝ち上がる競技があるので、それによって留学したいという生徒は出てくる。遠野や沼宮内のように花巻南高校は魅力があると思う。大迫高校の場合はエーデルワインさんの宿泊施設を活用できる利点がある。花巻周辺と考えると、下宿先が問題である。岩手の花巻南高校でソフトボールをしたいという生徒が出てくることを考慮すれば、検討していくのもいいのでは。

地域イベントに関しては、今、岩手のスポーツのイベントに対して、ボランティア・補助員が集まらない状況で、花巻南高校のスポーツ健康科学学系の協力があって成り立っているものが多い。今後、学校主体ではなくなったら、どう生徒がスポーツボランティアとして大会やイベントに協力していけるのか。高校の存在はかなり大きいので、高校生の協力がなければスポーツイベントが開催できなくなる可能性もある。

【F氏】 国際交流に関して、中学生の頃、アメリカのウィスコンシン州にある小さな村に2週間ほどホームステイした。当時は事前研修もなく放り込まれ、本当に全くわからない状況だった。楽しかったし、貴重な経験だったが、最初の1週間ぐらいは戸惑いの方が多かった。だが、帰ってきてから、多様性を受け入れる姿勢や、協調性、何かに困った時に自分で状況を切り開いていける力が形成されたと感じたし、今もそれが大きな原動力となって仕事にも結びついている。是非1人でも多くの子供たちを海外に行かせるべきだと強く思っている。

【G氏】 いわて留学の期間は3年間か？また、入試はあるのか？

【校長】 期間は3年間で、学校によって持ち方は様々だが、入試はある。県外から岩手に来る場合には、一家転住でなければならないが、いわて留学だけが一家転住でなくても入学を認めている制度。また、近県、例えば岩手県と宮城県の北部の県境や、秋田と岩手の県境も近県ということで入学を認めているケースもある。

【G氏】 若者の人口が減り、定員割れで学力低下が危惧されたり、地域の担い手が減っている。いわて留学がこれらの問題解決につながればよい。

【H氏】 花巻南高校が特色をどこに出していくか、ということが大事である。国際交流のホーム

ステイ受け入れ先や、地域イベントへの高校生の参加など、地域をもっと活用していくべきである。生徒や学校のニーズと地域のニーズのマッチングのアクセスポイントとして地域のイベントを活用して欲しい。

【I氏】花巻南高校は宮沢賢治の妹が教鞭をとった歴史ある学校である。学童でも地域の子供が減っているのを感じるが、今後も地域での存在感を維持して欲しい。

【A氏】部活動に参加していない生徒たちが、地域イベント等をおして地域とのつながり、その中で何か興味関心のあるものを見つけられるといいと思う。

(エ) その他

特になし

(7) 報告

姉妹校レイレファ高校（ハワイ）への派遣（令和6年度3月）について
国際科学学系長 小野寺より報告

(8) その他

- ・令和7年度各分掌重点目標・令和6年度進路概況・令和6年度部活動実績について、資料をもって紹介とする。
- ・委員より、文化会館での高校生主体の軽音楽イベントの紹介がある。

(9) 閉会